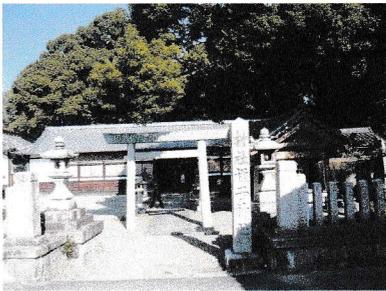


(5) 桶子神社 (おけごじんじや)

住所：518-0845三重県伊賀市木興町8
上野市駅 から徒歩12分 (959m)

主祭神：天照大御神 (大日靈貴命)

祭 神：健速須佐之男命、五男三女神、廣國押武金日命、天穗日命、宇迦能御魂神、
應神天皇、天兒屋根命、火産靈大神、市杵島比売命、猿田彦神、八衢比売神、
速玉之男神



沢山の石柱で囲われた境内の入り口には「村社桶子神社」の石碑があり、神明造りの石鳥居をくぐると右手に瓦屋根の新しい手水舎があり、拝殿の手前には阿吽の狛犬が配置されており、阿形の狛犬は玉を左前足で押えている。拝殿は平入り造りの瓦屋根で神明造の本殿と神饌所がある。

本神社の由来は伊賀郡高尾村に鎮座していた神体雨寶 (宝) 童子(うほうどうじ)が承徳2年の大洪水で木興村に流れ着き主祭人として祀られ、古来からの氏神廣國押武金日命は合祀された。神体雨寶 (宝) 童子は天照大神が降臨した時の16歳の姿といわれており、弘法大師空海が彫った尊像が朝熊山の金剛証寺本堂に脇侍として祀られている。神仏習合時代には天照大御神と一体と考えられており、本社では天照大御神は主祭人として、第27代安閑天皇の和風諡号である廣國押武金日命とともに祀られている。古来から魔除けに靈験があり、祈雨の信仰もある。

社殿を眺めると右手背後からクスノキやアラカシ、エノキなどの広葉樹の大木がかぶさるように立っており、サザンカ、サカキ、マンリョウ、シュロ、



キツタ、ケヤキ、ヒサカキ、クロマツ、メタセコイヤ、アセビ、サツキ、アオキ、クロガネモチ、サクラ、イヌマキ、ヒノキ (実)、サルスベリ、モミジ、ナンテンなどもみられる。祭祀は零才が4月16日、秋祭りが10月25日である。